



2025 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 ダイニチ工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉井 唯
(コード番号：5951、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 野口 武嗣
(TEL. 025-362-1101)

燃料電池発電ユニット次世代機 開発開始のお知らせ

当社は、家庭用燃料電池システムの「燃料電池発電ユニット（貯湯タンク内蔵）」（以下「発電ユニット」）について、次世代機の開発を正式に開始しましたので、お知らせいたします。

記

1. 発電ユニットについて

発電ユニットは、家庭用燃料電池システムの中核を成す重要なコンポーネントであり、熱源機（給湯器）と連携し機能します。このシステムは、都市ガス等の燃料から水素を取り出し、それを空気中の酸素と化学反応させて発電すると同時に、その排熱を利用してお湯を作る高効率なエネルギーシステムです。この化学反応では、燃焼を伴わないため、非常にクリーンで高効率なエネルギー利用が可能となります。また、停電時でも燃料（都市ガスやLPガス）の供給が続けば、発電してお湯を沸かすことが可能なことから、地震や台風といった災害発生時でも在宅避難が可能になり、地域のレジリエンス（強靭さ）の向上が期待できます。

当社は十数年にわたり、発電ユニットの開発と製造に取り組んでまいりました。この間、エネルギー効率の向上、システムの小型化、耐久性の強化など、様々な技術的課題を克服し、ノウハウを蓄積してきています。これまでに培った熱設計技術、システム制御技術、高度な溶接加工技術に加え、長年の製造を通じて獲得した量産ノウハウを惜しみなく投入することで、高品質かつ高性能な発電ユニットの開発を推進しています。

次世代の家庭用燃料電池システムに向けた発電ユニットは、さらなるエネルギー効率の向上と設置性、メンテナンス性の改善を目指し、現在鋭意開発を進めています。この革新的な発電ユニットを搭載したシステムは、2028年春頃の発売を目指し開発を進めており、今後も持続的な社会の実現と、お客様の快適な暮らしに貢献してまいります。

なお、開発にあたっては、大阪ガスマーケティング株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：森崎 健志）から、IoT活用を主とした技術協力を受ける予定です。

2. 今後の見通し

本件による2026年3月期の業績に与える影響は軽微です。

以 上